〈学校だより〉

と も そ だ ち

令和８年９月１日　諏訪市立城南小学校　№６

「 誰かのために行動できる 」

みなさん、おはようございます。夏休みが終わって、学校生活が再スタートしています。

今日は、あと半年ちょっとで６年生になる、そして、これからの城南小学校をつくっていく５年生のみなさんに、私から一つ、伝えたいことがあります。

それは、「５年生のみなさんには、もっともっと成長できる力がある」ということです。

私は、普段のみなさんの姿を見ています。友達と楽しそうに話している姿。元気いっぱいに活動している姿。友達を笑わせたり、助けたりしている姿。５年生には、明るさや元気があります。友達と一緒に楽しむ力があります。それは、みなさんのとても素敵なところです。そして、私は、そんなみなさんだからこそ、さらに、成長できるところがあると思っています。

その成長のキーワードは、「誰かのために行動できる」です。ここで、みなさんに一つ聞いてみたいと思います。学校生活の中で、「誰かのために行動する」ことができる場面って、どんな場面が考えられるでしょうか。

そうですね。いろいろな場面がありますね。友達が困っていたら声をかける。みんなが気持ちよく過ごせるように掃除をする。学校をもっとよくするために、児童会活動に取り組む。考えてみると、学校生活の中には、「誰かのために行動できる」場面がたくさんあります。

今の６年生を見ていると、そんな姿がたくさん見られます。清掃では、自分の仕事が終わっても、まだ汚れているところを見つけて掃除している人がいます。児童会活動では、「こうしたら学校がもっとよくなるんじゃないか」と考えて、自分の意見を伝えている人がいます。下級生が困っているときには、自然に声をかけている人もいます。私は、そんな６年生の姿を見ると、「成長したな」「頼もしくなったな」と感じます。でも、そんな今の６年生も、１年前は５年生でした。最初から、誰かのために何でもできたわけではありません。友達と一緒に活動したり、自分の役割を果たしたり、誰かに声をかけたり。そんな一つ一つの経験の中で、「自分からやってみよう」「友達と力を合わせよう」「誰かのために、自分にできることをやってみよう」という気持ちを、少しずつ育ててきたのだと思います。その積み重ねが、今の６年生をつくっています。

だから、みなさんも、大丈夫です。今日から、学校生活の中で、少しだけ意識してみてください。「今、自分にできることは何かな」「誰かのために、自分にできることはないかな」そう考えてみるのです。

誰かのために行動するというのは、特別なことではありません。みなさんの毎日の学校生活の中に、できることがたくさんあります。誰かのために、ほんの少し動いてみる。そんな小さな行動が、きっとみなさん自身の成長につながっていきます。そして、一人一人が「誰かのために」動くことができるようになると、５年生みんなの力は、もっと大きくなると思います。

今から冬休みまでの間にも、いろいろな行事や活動があります。友達と力を合わせる場面も、たくさんあるでしょう。そんな一つ一つの経験を大切にしながら、みなさんが少しずつ成長していくことを、私は楽しみにしています。

今日から、ちょっとだけ、「誰かのために、自分にできることはないかな」と考えてみてください。きっと、みなさんの周りには、できることがたくさん見つかると思います。

（８月 31 日　５年生に向けた校長講話より）

城南ＮＯＷ

ホームページ掲載用に加工してあります

連絡

＜今後の予定＞

９月　２日（水）避難訓練③
　　８日（火）就学時健康診断・検査
　１０日（木）～１６日（水）５時間授業
　１５日（火）～１６日（水）６年修学旅行
　２０日（日）みんなで本を読む日
　２４日（木）～３０日（水）個別懇談会
１０月　１日（木）４年長野見学
　　２日（金）２、３年校外学習
　　６日（火）１年校外学習
　　７日（水）諏訪地区学校と授業を考える会
　　９日（金）前期終業式、後期始業式
　１８日（日）みんなで本を読む日
　２４日（土）ＰＴＡ作業
　３０日（金）音楽会

↑城南小ホームページ
ご覧ください



老朽化と耐震性向上のため
渡り廊下が撤去されました

【文責：校長　髙寺 威】